



□□○○年○月○○日

宮崎県知事 殿

譲受人 氏名 **川南 一郎**
TEL **0000-00-1234**譲渡人 氏名 **平田 太郎**
TEL **0000-00-1234**

下記のとおり転用のため農地（採草放牧地）の権利を設定（移転）したいので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

記

1 当事者の住所等	当事者の別	氏名	住所					職業	
	譲受人	川南 一郎	宮崎 都道府県 児湯 郡市 川南 町村 大字川南○○○番地						会社員
	譲渡人	平田 太郎	宮崎 都道府県 児湯 郡市 川南 町村 大字平田○○○番地○						農業
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在	地番	地目	面積 (㎡)	利用状況	10a 当たり普通収穫高	所有権以外の使用収益権が設定されている場合	市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別	
			登記 現況				権利の種類 権利者の氏名又は名称		
	川南町大字川南字○○	100番1	田 田	500	田	玄米300kg			
計		500 ㎡ (田 500 ㎡、畑 0 ㎡、採草放牧地 0 ㎡)							
3 転用計画	(1) 転用の目的	一般個人住宅 (2) 権利を設定し又は移転しようとする理由の詳細 現在家族5人で借家に住んでいるが、子供の成長に伴い手狭になったため、申請地に住宅を建設するものである。							
	(3) 事業の操業期間又は施設の利用期間	許可日 年 月 日 から 永久 年間							
	(4) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	工事計画	第1期 着工 ○○年○○月○○日から ○○年○○月○○日まで	第2期	合計				
		名称	棟数	建築面積 (㎡)	所要面積 (㎡)	棟数	建築面積 (㎡)	所要面積 (㎡)	
		土地造成			500			500	
建築物		住宅 1	93.67		1	93.67			
小計		1	93.67	500	1	93.67	500		
工作物									
小計									
計		1	93.67	500	1	93.67	500		
4 権利を設定し又は移転しようとする契約の内容	権利の種類	権利の設定・移転の別	権利の設定・移転の時期	権利の存続期間	その他				
	所有権	設定 移転	許可有り次第	永久年					
5 資金調達についての計画	土地代 16,000,000円 自己資金 3,500,000円(残高証明・通帳の写し) 造成費 3,000,000円 借入金 16,000,000円(融資予約証明等) 建築費 500,000円 合計 19,500,000円								
6 転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要	境界にはブロック塀を設置し、土砂の流出を防止する。 雨水については、集水し町道側溝へ排水する。 生活排水については、合併浄化槽を設置し町道側溝へ排水する。 (排水先は川南町建設課○○係と協議済み)								
7 その他参考となるべき事項									

(記載要領)

- 1 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を自署する場合には、押印を省略することができます。
- 2 申請者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容を、それぞれ記載してください。
- 3 譲渡人が2人以上である場合には、申請書の差出人は「譲受人何某」及び「譲渡人何某外何名」とし、申請書の1及び2の欄には「別紙記載のとおり」と記載して申請することができるものとします。この場合の別紙の様式は、次の別紙1及び別紙2のとおりとします。
- 4 「利用状況」欄には、田にあつては二毛作又は一毛作の別、畑にあつては普通畑、果樹園、桑園、茶園、牧草畑又はその他の別、採草放牧地にあつては主な草名又は家畜の種類を記載してください。
- 5 「10a 当たり普通収穫高」欄には、採草放牧地にあつては採草量又は家畜の頭数を記載してください。
- 6 「市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別」欄には、申請に係る土地が都市計画法による市街化区域、市街化調整区域又はこれら以外の区域のいずれに含まれているかを記載してください。
- 7 「転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、工事計画が長期にわたるものである場合には、できる限り工事計画を6か月単位で区分して記載してください。
- 8 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときはその旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。

(別紙1) 申請書の1の欄 当事者の住所等

当事者の別	氏名	捺印	住所	職業
譲受人				
譲渡人				

(別紙2) 申請書の2の欄 許可を受けようとする土地の所在等

譲渡人の氏名	所在	地番	地目		面積	10a当たり 普通収穫高	利用 状況	耕作者の氏名
			登記簿	現況				
計 筆	m ² (田		m ² 、畑		m ² 、採草放牧地		m ²)	

(記載要領) 本表は、(別紙1)の譲渡人の順に名寄せして記載してください。